

特 殊 報

各関係機関の長 殿

福岡県病害虫防除所長

平成15年度病害虫発生予察特殊報第7号について

このことについて、以下のとおり送付します。

平成15年度病害虫発生予察特殊報第7号

- 1 対象作物 キウイフルーツ
- 2 病害虫名 キクビスカシバ *Nokona feralis* (Leech)
- 3 発生地域 県中南部
- 4 特殊報の内容
 - (1) 初発生確認の経緯
 - ア 平成15年10月に県農業総合試験場(筑紫野市)のキウイフルーツ園の側道にて羽化不全のキクビスカシバ成虫を確認。翌平成16年1月に、同園を調査したところ、脱出痕とキクビスカシバの蛹殻が確認された。
 - イ また、同時期に八女地域農業改良普及センターが、立花町、黒木町、上陽町のキウイフルーツ園を調査した結果、本虫の脱出痕と蛹殻を確認した。
 - (2) 被害状況
 - ア 樹幹表面には脱出口と蛹殻があり、枝に虫えいを形成していた。
 - イ 幼虫が樹幹及び枝の髓部に食い入り、内部を食害していた。
 - (3) 形態・生態等
 - ア 発生回数は通常年1回と考えられ、7月下旬以降に成虫が発生する。
 - イ 成虫の開張時の大きさは、雄が29.5~40mm、雌が38~45mmあり、スカシバガでは大きい種である。頸板の両側と腹部第2節に黄色の細い帯と、4節に幅広い黄色の帯がある。
 - ウ 幼虫は茶褐色の虫糞を外に出しながら樹幹及び枝の髓部に食入する。終齢幼虫は桃紫色で、枝に虫えいを形成する。
 - エ 脱出口及び羽化後の蛹殻が樹幹表面に出て残る。
- 5 防除上注意すべき事項
 - (1) 本虫の防除には登録農薬がないので、食入が疑われる枝は剪定時に除去する。
 - (2) キウイフルーツにおける本虫の被害や生態は不明である。
- 6 参考文献
 - 「擬態する蛾 スカシバガ」 有田豊・池田真澄(2000)
 - 「月刊むし キウイを食べるキクビスカシバ」 加藤輝年(2004)

写真 : キクビスカシバ成虫 (左: 右:)



(月刊むしより引用)

写真 : 枝に残った蛹殻



写真 : 食入された枝内部と蛹殻



写真 : 枝に残った蛹殻

